

(5) 農林水産業費

事業名	有害鳥獣被害対策事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	06	農林水産業費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	農業費
担当部署	農林水産課		林業水産係		目	03	農業振興費	
事業費			7,341,415 円	事業の目的・目標	鳥獣による被害の予防や有害鳥獣の捕獲を行うことにより、農業生産の持続と農地の遊休化防止、集落の生活環境の保全に努める。			
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		1,512,200 円					
	地方債		円					
	その他		円					
	一般財源		5,829,215 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

●捕獲事業

有害鳥獣捕獲班を編成し、イノシシ、サルなど農作物等に被害を及ぼす有害鳥獣を捕獲する。

●防護柵等設置事業

有害鳥獣による被害防止を図るため電気柵や金網フェンス等の資材費助成を行う。

●鳥獣被害防止総合対策交付金事業

農林水産省補助事業「鳥獣被害防止総合対策交付金事業」に取り組む「江津市鳥獣被害対策協議会」に対し、補助金等を支出し、将来に安心して農業に取り組める鳥獣被害防止施設の整備並びに地域ぐるみの鳥獣被害対策の確立を図る。

⇒総事業費：3,888,352円

国：1,693,800円

市：686,000円

事業費内訳

(単位：円)

事業名	区分	内容	事業費
捕獲事業	有害鳥獣捕獲	イノシシ446頭、サル39頭、シカ11頭、カラス56羽、ヌートリア101匹	5,092,800
	捕獲活動条件整備	ハンター保険、狩猟登録料助成他	1,273,615
防護柵等設置事業	防護柵等設置	受益戸数12件	289,000
鳥獣被害防止総合対策事業	推進体制整備	江津市鳥獣被害対策協議会開催、事務費	686,000
	有害捕獲	サル用捕獲檻購入 2台 イノシシ利活用促進 (ふるさとフェア出店)	
	被害防除	研修等	
	防護柵整備	総延長(鳥獣被害総合対策分)2,540m、1地区	
計			7,341,415

有害鳥獣捕獲実績 (H24-30)

(単位：頭、匹、羽)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
イノシシ	373	388	381	353	436	378	446
サル	48	38	38	34	31	47	39
シカ						5	11
カラス	175	211	136	61	97	75	56
ヌートリア	53	15	54	38	59	127	101

○事業の効果

●捕獲事業の実施により、有害鳥獣の個体数増加に歯止めをかけており、被害の軽減に寄与した。

●狩猟登録の助成等により市の捕獲班の確保に努めた。

●鳥獣防護柵設置により、鳥獣被害の軽減が図れた。

事業名	みんなでつなげる有機の郷事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	06	農林水産業費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	農業費
担当部署	農林水産課		農業振興係		目	03	農業振興費	
事業費				829,000 円	事業の目的・目標	①有機農産物等の販路開拓及び販売拡大 ②有機農業の新規就農者の受入れ・育成 及び経営基盤の整備 ③有機農業の面的拡大		
財源内訳	国庫支出金			円				
	県支出金			円				
	地方債			円				
	その他			円				
	一般財源			829,000 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- ・江津市有機農業推進協議会補助金
本市の有機農業の推進に取り組む江津市有機農業推進協議会に対し、補助金を交付し、その取組みを支援する。（補助率：定額）

○事業の実績

事業内容	事業費（円）
(1) 有機農業による生産取組の推進 ・有機農業実践講座の開催16回、延べ303名参加 ・有機農業講習会の開催4回、延べ103名参加	420,000
(2) 有機農業の担い手の確保・育成 ・県外就農相談会の出席2回（大阪2回） 計25名の就農相談に対応	218,836
(3) 有機農業の理解の促進 ・市内イベントにおける有機農産物の販売活動	190,164
(4) その他推進活動 ・有機農業推進協議会総会の開催 ・有機栽培事例集の作成	
合計	829,000

○事業の効果

- ・有機農業実践講座による有機農業志向者の掘り起こしや担い手確保等の取組みにより、有機農業の普及拡大を図った。
- ・有機農業実践地域の拡大を図った。（2地域→4地域）
- ・「江津市有機栽培事例集」（サトイモ、ピーマン、大根）を作成し、有機栽培の推進と栽培技術の普及を図った。



[有機農業実践講座の様子]



[ごうつ秋まつりでの販売活動]

事業名	地産地消支援事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	06	農林水産業費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	農業費
担当部署	農林水産課		農業振興係		目	03	農業振興費	
事業費						3,668,414 円	事業の目的・目標 営農コーディネーター2名を配置することにより、営農技術指導や消費者ニーズと生産・出荷のマッチング等を強化し、農林水産物直売所の年間を通じた安定供給を図る。また、学校給食での食材供給における生産者と品目の拡大を図り産直率向上に努める。	
財源内訳	国庫支出金				円			
	県支出金				円			
	地方債				3,600,000 円			
	その他				円			
	一般財源				68,414 円			

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

農林水産物直売所の安定供給及び学校給食における地産地消の推進を図るため、営農コーディネーターを2名配置する。

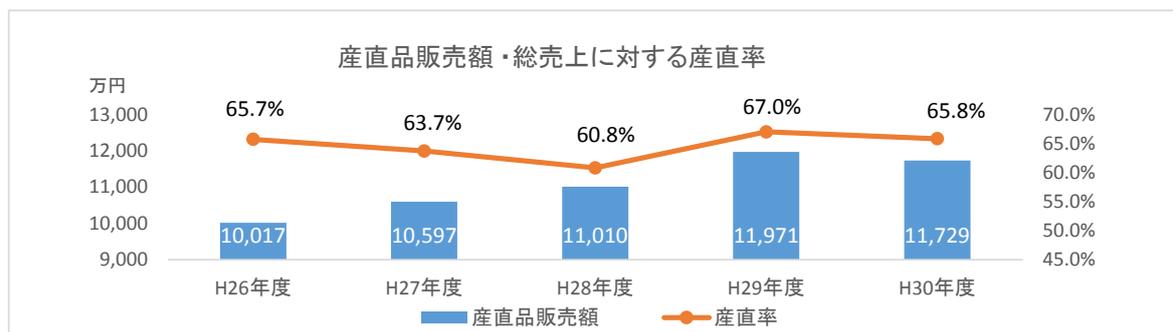
- 配置人数 : 2人 (江津地区1人、桜江地区1人)
- 配置場所 : JAしまね いわみ中央地区本部、島根おおち地区本部
- 経費の負担区分 : 江津市(各1/2 1,893,414円+1,775,000円=3,668,414円)
いわみ中央地区本部(1/2) 1,733,414円
島根おおち地区本部(1/2) 1,775,000円

●営農コーディネーターの業務内容

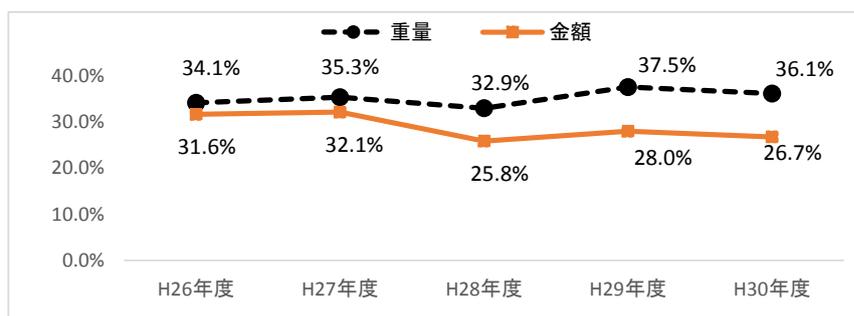
- ① 営農相談・技術指導・研修会の実施
- ② 収益のあがる農業経営への誘導
- ③ 直売所での消費者ニーズと生産・出荷のマッチング
- ④ 学校給食での供給と生産のマッチング
- ⑤ 直売所・学校給食の生産物の集荷
- ⑥ その他支援措置

○事業の実績及び効果

●「農林水産物直売所(三産市)」の実績



●学校給食食材自給率の実績



【学校給食センターへ納品】

事業名	担い手育成対策事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	06	農林水産業費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	農業費
担当部署	農林水産課		農業振興係		目	03	農業振興費	
財源内訳	事業費		52,092,920 円	事業の目的・目標	[担い手育成対策事業（ソフト）] 新規就農者の確保・育成を図るとともに、既存の担い手については、農地集積等を通じて経営基盤の強化を図る。			
	国庫支出金		円		[担い手育成対策事業（ハード）] 担い手の新たな規模拡大等に要する機械・施設の整備に要する経費を支援する。			
	県支出金		49,007,420 円					
	地方債		円					
	その他		2,479,434 円					
一般財源		606,066 円						

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

(単位：円)

事業主体	事業種目	事業費	事業に要した経費(県+市)	負担区分		
				県、公社	市	自己負担
[担い手育成対策事業]						
[担い手育成対策事業（ソフト）]						
1. 江津市新規就農者支援対策事業						
専業就農者	農業次世代人材投資資金	9,750,000	9,750,000	9,750,000	0	0
半農半X実践者	半農半X支援事業	900,000	900,000	450,000	450,000	0
2. 人・農地問題解決加速化支援事業						
江津市	推進活動	47,317	47,317	20,420	26,897	0
3. 農地中間管理事業						
江津市	推進活動	2,608,603	2,608,603	2,473,886	134,717	0
		小計①	13,305,920	13,305,920	12,694,306	611,614
[担い手育成対策事業（ハード）]						
4. 江津市担い手確保・経営強化支援事業						
農業法人	整備支援	81,783,000	37,687,000	37,687,000	0	44,096,000
5. 江津市経営体育成支援事業						
農業法人	整備支援	3,564,000	1,100,000	1,100,000	0	2,464,000
		小計②	85,347,000	38,787,000	38,787,000	0
合計(小計①+小計②)			98,652,920	52,092,920	51,481,306	611,614

[担い手育成対策事業（ソフト）]

1. 江津市新規就農者支援対策事業

●農業次世代人材投資資金（事業主体：専業就農者）

[内容]

経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対して、資金を交付し経営の安定を図る。

- ・専業就農者(浅利町、夫婦共同経営) 2,250,000円
(就農地：波積町、経営作目：コケ)
- ・専業就農者(波子町、夫婦共同経営) 2,250,000円
(就農地：敬川町、経営作目：コケ)
- ・専業就農者(桜江町) 1,500,000円
(就農地：桜江町、経営作目：露地野菜)
- ・専業就農者(浅利町) 1,500,000円
(就農地：後地町、経営作目：施設野菜)
- ・専業就農者(川平町) 750,000円
(就農地：後地町、経営作目：施設野菜)
- ・専業就農者(川平町) 750,000円
(就農地：後地町、経営作目：施設野菜)
- ・専業就農者(二宮町) 750,000円
(就農地：跡市町、経営作目：めん羊)
- ・半農半X実践者(波子町) 900,000円
(就農地：有福温泉町、経営作目：コケ)



・桜江で露地野菜の生産に取り組む専業農業者
(児童と交流会に講師として参加)



・半農半X支援事業を活用したコケ栽培

○事業の効果

新規就農者の営農継続及び定着 11名

計 10,650,000円

2. 人・農地問題解決加速化支援事業

●推進活動〈事業主体：江津市〉

〔内容〕

地域単位での地域農業の話合いの場づくりや人・農地プランの更新等を実施する。

・人・農地プラン作成支援システム経費	4,717 円
・人・農地プラン検討会の開催	20,800 円
・人・農地プラン啓発資材購入	21,800 円

計 47,317円

○事業の効果

地域農業の話合いの場づくりと合意形成 3 地区

3. 農地中間管理事業

●推進活動〈事業主体：江津市〉

〔内容〕

分散錯綜した農地の集積・集約化を図り、地域の担い手の経営基盤の強化を図る。

(※本事業は、農地中間管理機構に指定されている公益財団法人しまね農業振興公社からの委託事業として実施)

・人件費（嘱託員報酬、職員時間外手当）	2,272,953 円
・その他事務費	335,650 円

計 2,608,603円

○事業の効果

農地所有者から農地中間管理機構への貸付実績 4.9ha

[担い手育成対策事業（ハード）]

4. 江津市担い手確保・経営強化支援事業

●整備支援〈事業主体：農業法人〉

〔内容〕

国の事業採択を受けた事業者の規模拡大等に必要な施設・機械整備経費に補助金を交付し支援する。

農業法人 A

・大豆用コンバイン 1 台	2,905,000 円
・乾燥・調整機械 一式	3,853,000 円
・乗用管理機 1 台	929,000 円

農業法人 B

・パイプハウス整備 (2,112㎡)	22,725,000 円
・給液システム 一式	7,000,000 円
・動力噴霧器 1 台	275,000 円

37,687,000 円

○事業の効果

雇用の確保16名（内新規雇用1名）及び経営面積の拡大（0.7ha）



・大豆用コンバイン



・パイプハウス 4 連棟

5. 江津市経営体育成事業

●整備支援〈事業主体：農業法人〉

〔内容〕

国の事業採択を受けた事業者の規模拡大及び必要な施設・機械整備経費に補助金を交付し支援する。

・液剤散布マルチコプター（ドローン） 1 台	1,100,000 円
------------------------	-------------

○事業の効果

作業の省力化により、経営面積の拡大に寄与

1,100,000 円



・液剤散布マルチコプター(ドローン)

事業名	中山間地域等直接支払事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	06	農林水産業費
事業開始年度	平成 27 年度	事業進捗率 80 %		項	01	農業費
担当部署	農林水産課	農業振興係		目	03	農業振興費
事業費		13,664,458 円	事業の目的・目標	中山間地域の農地を適切に管理し、耕作放棄地の発生防止や多面的機能（洪水防止や水源の涵養、美しい景観）の確保を図るために、平地との生産コスト差に相当する交付金を交付し、中山間地域の農業生産活動の継続を図るための支援する。協定数・協定面積の増加を目標とし、高齢化や担い手不足等によって営農活動困難が予想される集落協定については近隣の集落による補完を踏まえた広域連携対策を進める。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	9,921,797 円				
	地方債	円				
	その他	円				
一般財源	3,742,661 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- 急傾斜地 「田」 傾斜1/20 21千円/10a 「畑」 傾斜15度 11.5千円/10a
- 緩傾斜地 「田」 傾斜1/100 8千円/10a 「畑」 傾斜 8度 3.5千円/10a
(※基礎活動への取組の場合は、上記単価の8割)

○事業の実績

第3期対策の取組を継続し、第4期対策（H27年度～31年度）の取組4年目。

- 協定数 26協定（集落協定 25 ・ 個別協定 1）
- 協定農用地 134ha（田 107ha ・ 畑 27ha）
- 事業費内訳 13,664,458円（交付金12,885,085円＋推進費（事務費）779,373円）

○事業の効果

上記の協定農用地が荒廃することなく適切に管理され、農地の持つ多面的機能を発揮している。集落の農地は集落で守るという各集落協定参加者の意識も定着し、各集落で積極的な活動が行われている。（写真は代表的な取り組み）



「畦・農道の除草作業」（川平町南川上集落）



「共同作業による水路管理」（恵良集落）



「景観作物(チューリップ)の作付け」（波積本郷）



「共同取組(機械作業)病虫害防除」（波積本郷）

事業名	多面的機能支払事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	06	農林水産業費
事業開始年度	平成 26 年度	事業進捗率 100 %		項	01	農業費
担当部署	農林水産課	農業振興係		目	03	農業振興費
事業費		23,326,708 円	事業の目的・目標	農村地域の高齢化や過疎化の進行に伴い、国土の保全や水源のかん養、美しい景観を作るなどの農業や農村の有する多面的機能の維持・発揮に支障が生じているため、機能の適切な維持・管理やさらなる発揮を目的に農地・水保全管理制度を継承して実施する日本型直接支払制度(多面的機能支払制度)によって農業・農村の支援を行うもの。(第2期対策事業の最終年。次年度から第3期対策へ移行。)		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	17,458,664 円				
	地方債	円				
	その他	円				
	一般財源	5,868,044 円				

施策の内容、実績、及び効果

○多面的機能支払制度の概要

●農地維持支払交付金

農地や道水路などの草刈りや泥上げ、簡易な補修などの基礎的な保全活動と生物多様性の保全や景観形成など農村環境保全のための活動への支援

- ・対象農用地面積に「田 3,000円/10a・畑 2,000円/10a」乗じて得た金額を交付する。

●資源向上支払交付金

- ・「地域資源の質的向上を図る共同活動」への支援

対象農用地面積に多面的機能増進活動に取り組んだ場合は「田 1,800円/10a・畑 1,080円/10a」を取組まない場合は「田 1,500円/10a・畑 900円/10a」を乗じて得た金額を交付する。

- ・「施設の長寿命化のための活動」への支援

対象農用地面積に「田4,400円/10a・畑 2,000円/10a」乗じて得た金額を交付する。

○事業の実績

●事業の総事業費 23,326,708円

多面的機能支払交付金22,687,552円（内訳：県支出金17,015,664円＋市費5,671,888円）

多面的機能支払推進費（事務費）639,156円（県支出金443,000円＋市費196,156円）

※県支出金は国費を含む。

●協定組織数

農地維持支払交付金の取組み組織：14組織

資源向上支払交付金の取組み組織：14組織

地域資源の質的向上を図る共同活動の取組組織：14組織

（うち多面的機能増進活動に取り組む組織12組織、取組まない組織2組織）

施設の長寿命化のための活動に取り組む組織：6組織

●多面的機能支払交付金の対象となる農用地の状況

農地維持支払交付金の対象となる農用地の面積

352ha：田 317ha・畑 35ha

資源向上支払交付金の対象となる農用地の面積

352ha：田 317ha・畑 35ha

施設の長寿命化のための活動の対象となる農用地の面積

167ha：田 157ha・畑 10ha

○事業の効果

資源向上維持活動及び共同活動並びに農地維持支払交付金と活動範囲が多岐にわたってカバーされたことにより施設の基礎的な保全活動に加え、新たに生物多様性の保全や景観形成など農村環境保全のための活動への取組みが地域に浸透してきており、各組織で参加者の拡がりが見られるようになった。

事業名	農林水産振興総合事業			予算科目	会計	01	一般会計		
					款	06	農林水産業費		
	事業開始年度	平成	年度		事業進捗率	%	項	01	農業費
	担当部署	農林水産課			農業振興係	目	03	農業振興費	
事業費		12,895,199 円		事業の目的・目標	①[新農林水産振興がんばる地域応援総合事業] 担い手の育成確保など、本市における農業振興の課題に取り組むため、県事業を導入して必要な支援を行う。				
財源内訳	国庫支出金	円			②[6次産業推進事業] 農林漁業者等の1次生産者と加工、流通、行政等の多様なネットワークによる新商品開発、市場調査、販路開拓等に取り組むための経費を支援する。				
	県支出金	6,993,000 円							
	地方債	円							
	その他	円							
一般財源	5,902,199 円								

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

(単位：円)

事業主体	事業種目	事業費	事業に要した経費(県+市)	負担区分		
				県	市	その他
[農林水産振興総合事業]						
1、新農林水産振興がんばる地域応援総合事業						
専業就農者A	自営就農開始支援	1,080,000	540,000	360,000	180,000	540,000
専業就農者B	自営就農開始支援	8,402,147	4,198,000	2,799,000	1,399,000	4,204,147
専業就農者C	自営就農開始支援	417,593	208,000	139,000	69,000	209,593
2、6次産業推進事業						
市	江津市6次産業推進アドバイザー業務	3,024,229	3,024,229	0	3,024,229	0
江津市6次産業創造戦略会議	補助金(ソフト事業)	6,284,311	4,924,970	3,695,000	1,229,970	1,359,341
合計		19,208,280	12,895,199	6,993,000	5,902,199	6,313,081

1、新農林水産振興がんばる地域応援総合事業

●自営就農開始支援 (事業主体：専業就農者) 計 4,946,000円

[内容]

認定新規就農者等が農業経営を開始する際に必要な施設、機械等の整備を支援

・専業就農者A

人参等洗浄機 1台 240,000円
 人参等堀取機 1台 300,000円 計 540,000円

・専業就農者B

牛舎1棟(150㎡)及び付帯施設一式 3,298,000円
 素牛2頭 900,000円 計 4,198,000円

・専業就農者C

育苗施設 1棟 208,000円 計 208,000円



・人参洗浄機1台



・牛舎1棟



・育苗施設 1棟

○事業の効果

認定新規就農者等を対象に初期投資の軽減を図り、経営基盤の整備を図った。

2、6次産業推進事業

(1) 江津市6次産業推進アドバイザーの設置 計3,024,229円

[内容]

商品開発のための事業者連携のコーディネートや販路開拓への助言を受ける

- ・江津市6次産業創造戦略会議等の運営サポート 26回
- ・市内事業者のヒアリング・ニーズ把握 10社
- ・商品開発支援 10件
- ・事業者間同士のマッチング件数 5件
- ・販路開拓・プロモーション活動 10件

■江津市6次産業創造戦略会議へ補助金を交付し、6次産業化の取組みを支援する

①地域資源を活用した新商品開発・商品改良の支援 (10件、以下は主な新商品)



- ・ハマボウフウのピクルス
- ・「道の駅」サンピコごうつで販売



- ・「地ビールカレー」
(市内地ビール、市内産大根使用)
- ・榎石見麦酒が自社販売

②販路開拓・各種プロモーション活動支援 (10件、以下は主な取り組み)



[にほんばし島根館での江津フェア]



[「ごうつ食在月」※地域資源を活用した新メニューを1ヶ月間市内飲食店で提供]



[広島T-SITEでの江津フェア]



[東京・世田谷「松陰PLAT」での江津フェア]

③その他6次産業化推進に係る支援
1～3次事業者を対象にした研修・交流会



[外部講師を招いた研修活動]



[6次産業化製品を使った試食・交流会]

■市内の苔の生産振興に係る活動支援 (事業実施主体：ドクターリセラ株)



[先進地(山形市)への視察]



[国際ガーデンEXPOへの出展]

○事業の効果

- ・雇用者の増 (1名)
- ・新たな販路の開拓 (8件)
- ・地域資源を活用した新たな商品開発 (10件)
- ・販路開拓・プロモーション活動の実施による本市の特産品PRと認知度向上
- ・市内1次事業者(生産者)及び市内3次事業者(飲食店)との連携強化

事業名	農林水産物直売所支援事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	06	農林水産業費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	農業費
担当部署	農林水産課		農業振興係		目	03	農業振興費	
事業費				7,765,361円	事業の目的・目標	直売所を拠点とした生産振興と地産地消、情報発信の取組みを進めるために、直売所の安定経営と維持管理に必要な経費を負担し、効率的な活用を図る。		
財源内訳	国庫支出金			円				
	県支出金			円				
	地方債			円				
	その他			1,188,146円				
	一般財源			6,577,215円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

(単位：円)

区分	金額	内容
指定管理者に委託する施設の維持管理に関する経費	3,600,000	・指定管理委託料(トイレ清掃・データ通信・警備保障等) 3,600,000
その他	4,165,361	・浄化槽管理委託料(国84%：市16%) 1,414,460 ・イベント経費(警備・広報・消耗品) 1,102,235 ・その他(管理費・修繕料・研修費等) 1,648,666
計	7,765,361	

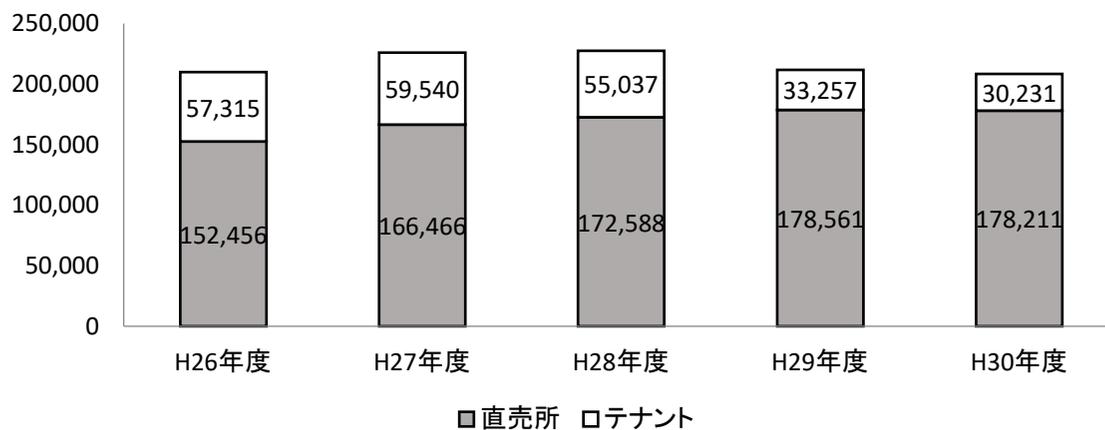
○事業の効果

「道の駅」開設後9年が経過し、「道の駅」が持つ3つの機能(休憩機能・情報発信機能・地域の連携機能)を発揮し、多くの住民と通行客・観光客の利用があった。

その内の農林水産物直売所では各種イベントの開催、県内外でのPR活動にも取り組み、地産地消や食育の推進も図り、生産者の農業への意欲向上、地場製品の消費拡大にも貢献している。

【農林水産物直売所の実績】

(単位：千円)



	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
直売所販売額	130,108	142,818	152,456	166,466	172,588	178,561	178,211
(内)産直販売額	79,304	87,368	92,768	96,752	92,172	89,410	86,118
テナント販売額	46,464	51,827	57,315	59,540	55,037	33,257	30,231
合計	176,572	194,645	209,771	226,006	227,625	211,818	208,442

事業名	農地有効利用支援事業		予算科目	会計	01	一般会計	
				款	06	農林水産業費	
事業開始年度	平成 30 年度	事業進捗率		%	項	01	農業費
担当部署	農林水産課	農業振興係		目	05	農地費	
事業費		2,953,800 円		事業の目的・目標	放置すれば耕作放棄地になるとされる遊休農地を農業者へ集積して農地の荒廃を抑制する。農地集積者が耕作するにあたり、農地の有効活用を図るために形状の変更や施設の改良等行って営農活動を推進する事業。		
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	1,150,000 円					
	地方債	円					
	その他	659,800 円					
	一般財源	1,144,000 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

島根県農地中間管理機構が営農困難となった農地所有者と不在地主から農地を借り受け、農業者へ貸し出すことに併せて本事業を活用して農地の整備を行い、営農条件を改善する。

本地区においては、圃場の排水が不良であり、営農に支障をきたすため、暗渠排水設備を設置して、水稻栽培のみならず、転作を視野に入れた圃場作りを行う。

○事業費の負担割合

- 工事費の 1/2 を県支出金、1/4 を市負担金、1/4 を受益者で負担。

○事業の実績

・実施地域及び内容

- 川越地区 測量設計業務委託料 486千円、暗渠排水設置工事 (0.24ha) 2,300千円

- 事業内容 暗渠排水工事 吸水管渠 (陶管、φ50) 236.9m、集水管渠 (VU、φ65) 16.9m
水閘設置 6箇所

○事業の効果

上記の農用地が荒廃することなく適切に管理され、集積した農業者が転作含めた幅広い営農活動を行うことが可能となった。(写真は工事施工前～工事完了後)



工事施工前



暗渠排水施工中



暗渠排水施工中



暗渠排水工事完了

事業名	林業振興費			予算科目	会計	01	一般会計
					款	06	農林水産業費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	02	林業費
担当部署	農林水産課		林業水産係		目	02	林業振興費
事業費			791,796 円	事業の目的・目標	市内林業の振興の為、緑の募金の推進や林業の担い手である森林組合に対し、社会保険や退職金制度への加入促進のため、補助金を交付するほか、地域資源による産業の創出を目的として設立された「江津市地域資源活用協議会」に対し、事業の円滑な推進をはかるため補助金を交付するもの。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債		600,000 円				
	その他		50,000 円				
	一般財源		141,796 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

【緑の募金推進事業】

緑の募金の推進事務費。(50,000円)

【森林組合作業員雇用安定化対策費補助金】

林業の担い手である森林組合作業員の社会保障制度への加入促進を図るため、社会保険料、退職金掛け金の事業者負担金及びその他雇用安定化に必要な経費に対し補助金を交付。

交付対象者	補助金額(円)	加入者数(人)			その他
		健康保険	厚生年金	退職金	
江津市森林組合	300,000	5	5	5	—
邑智郡森林組合	400,000	5	5	5	作業員休憩施設使用料補助
計	700,000	10	10	10	

【江津市地域資源活用協議会補助金】

江津市地域資源活用協議会補助金 (41,796円)
江津市地域資源活用協議会の清算に係る経費の補助

○事業の効果

【緑の募金推進事業】

平成30年度においては、1,258,134円の募金が集まった。

【森林組合作業員雇用安定化対策費補助金】

森林組合作業員の社会保障制度対象者の全員が制度に加入した。

事業名	公社造林事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	06	農林水産業費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	02	林業費
担当部署	農林水産課		林業水産係		目	02	林業振興費	
事業費			7,220,942 円	事業の目的・目標	公益社団法人島根県林業公社の分収契約による管理者として事業受託し、造林及び保育に関する事業を実施する。			
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		円					
	地方債		円					
	その他		3,971,266 円					
	一般財源		3,249,676 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

保育事業委託料

施行内容	箇所数	施行面積 (ha)	施行委託料 (円)
保育間伐	1	11.10	2,081,160
搬出間伐	1	5.34	1,812,240
計	2	16.44	3,893,400

旅費	(円)
普通旅費	18,260

需用費	(円)
消耗品費	13,284

需用費	(円)
燃料費	46,798

人件費	(円)
人件費	3,249,200

○事業の効果

- ・ 保育施業を実施することで、森林の公益的機能・財産価値を高めることができた。
- ・ 間伐材を搬出し販売することで、土地所有者に利益を分収することができた。

【保育間伐】



【搬出間伐】



事業名	森林整備地域活動支援交付金			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	06	農林水産業費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	02	林業費
担当部署	農林水産課		林業水産係		目	02	林業振興費	
事業費			5,693,000 円	事業の目的・目標	森林の有する多面的機能が十分に発揮されるよう適切な森林整備の推進を図るため、森林所有者等による森林施業実施に不可欠な森林の現況調査や作業路網の簡易な改良活動等の地域活動を支援する。			
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		4,269,750 円					
	地方債		円					
	その他		円					
一般財源		1,423,250 円						

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

江津市森林組合に補助金を交付し、森林経営計画の作成促進、森林境界の明確化、作業路網の改良活動を実施。

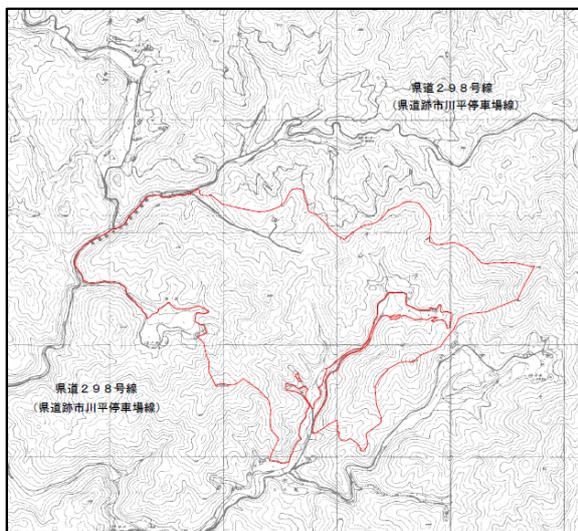
事業メニュー	積算面積 (ha)	交付金額 (円)	県交付額 (円) 3/4	市交付額 (円) 1/4
森林経営計画作成促進	29.00	1,030,000	772,500	257,500
森林境界の明確化	55.00	2,475,000	1,856,250	618,750
森林経営計画作成に向けた条件整備	54.70	2,188,000	1,641,000	547,000
計	138.70	5,693,000	4,269,750	1,423,250

○事業の効果

本事業により、計画的な森林施業のための情報整備や作業路網の基盤改良が図られた。

事業メニュー	対象行為	実施箇所	実施面積・延長	単位
森林経営計画作成促進	森林調査 経営計画作成	旧江津市内	29.00	ha
森林境界の明確化	森林境界の測量	跡市町	55.00	ha
森林経営計画作成に向けた条件整備	作業路網の改良	跡市町作業路	115.00	m

【森林境界の明確化位置図：江津市森林組合】



【作業路網の改良：江津市森林組合】



事業名	地域林業循環創造事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	06	農林水産業費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	02	林業費
担当部署	農林水産課		林業水産係		目	02	林業振興費	
事業費						6,115,591 円	事業の目的・目標 林業事業体や森林所有者等が地域の森林から未利用木材を搬出しバイオマス発電用燃料を供給する取組を支援することで、施業が放棄されている森林の適正な管理を促進し、循環型林業の再生を目指す。	
財源内訳	国庫支出金					円		
	県支出金					円		
	地方債					1,600,000 円		
	その他					285,404 円		
	一般財源					4,230,187 円		

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

【バイオマスコーディネーターの設置】

以下の研修会、学習会を企画し、森林所有者や市民が森林・林業の技術や知識を習得した。
 ・チェーンソー伐木技術研修会（7月に長谷地区で実施）
 チェーンソーによる安全な伐木技術の習得を目的として研修会を実施。

【江津市循環型林業創造協議会の設立】

令和元年度から始まる「新たな森林管理制度」「森林環境贈与税」の活用について協議する場として、林業事業体と市協議会を設立した。

【間伐材買取り支援補助金の交付】

チップ生産事業体に3,000円/トンの補助金を交付し、森林の間伐及び間伐材の搬出を促進する。

バイオマスコーディネーター設置費用	(円)
報酬、保険料、建物借上料等	3,665,476

バイオマスコーディネーター事務経費	(円)
旅費、消耗品費、器具購入費等	754,115

間伐材買取り支援補助金	(円)
間伐材買取り支援補助金	1,696,000

○事業の効果

- ・森林・林業に関する研修会等を開催し、延べ8人が参加し、林業技術の習得や森林に対する理解を深めた。
- ・江津市循環型林業創造協議会を設立したことにより、定期的に林業の課題や新たな森林管理制度の進め方などについて協議する場の創設ができた。
- ・間伐材買取り支援補助金制度の出荷登録者が8人（団体）増加し、46人（団体）となり、間伐材の出荷量は565.7トン（735.4㎡）となった。

【チェーンソー研修会の様子】



事業名	林業専用道開設事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	06	農林水産業費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	02	林業費
担当部署	農林水産課		林業水産係		目	02	林業振興費	
事業費			20,893,830 円		事業の目的・目標	路網が無い為に木材生産が進んでない森林に林業専用道（規格相当）を開設し、木材生産を加速させる。		
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		20,500,000 円					
	地方債		円					
	その他		円					
	一般財源		393,830 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

林業専用道市山線開設工事 20,518,920
 工事延長 L=411.1m、W=3.5m

推進事務費（旅費） 12,030円

修繕料 362,880円

○事業の効果

林業専用道市山線411.1mを開設したことにより、令和元年度に周辺市有林から間伐材の搬出が実施可能となった。

平成30年度 林業専用道市山線開設工事



事業名	森林病虫害等防除事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	06	農林水産業費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	02	林業費
担当部署	農林水産課		林業水産係		目	02	林業振興費	
事業費			8,809,560 円		事業の目的・目標	森林病虫害等を早期に、且つ、徹底的に駆除し、及びそのまん延を防止し、もつて森林の保全を図ることを目的とする。		
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		6,054,300 円					
	地方債		円					
	その他		円					
	一般財源		2,755,260 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

森林病虫害におかされた松の伐倒駆除を行う。また、森林病虫害による枯死木の林内処理を行う。

費目	防除方法	事業量	事業費(円)
委託料	衛生伐・不用木等の除去・処理	くん蒸330m ³ 、不用木20m ³	8,650,800
手数料	枯松支障木伐倒整理手数料(市単)		81,000
	屋根及び樋清掃手数料(市単)		77,760
合 計			8,809,560

○事業の効果

森林病虫害を駆除することにより、線虫の増殖を防ぐことができた。



事業名	市行分収造林事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	06	農林水産業費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	02	林業費
担当部署	農林水産課		林業水産係		目	03	財産造成費
事業費			6,548,063 円	事業の目的・目標	木材としての価値を高め、市有財産を増やすとともに搬出間伐等の木材生産を行い、分収契約者に収益を還元する。森林の持つ公益的機能をより発揮させる。林業の活性化を図り、林業雇用の場を維持拡大させる。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		3,628,520 円				
	地方債		1,200,000 円				
	その他		1,337,041 円				
一般財源		382,502 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

保育事業委託料

施業内容	箇所数	施業面積	施業委託料 (円)
搬出間伐	1	3.46ha	1,512,000
除伐	1	6.50ha	1,274,400
保育間伐	5	9.96ha	1,966,680
造林地調査	7	6,985.8m	915,840
合計			5,668,920

役務費	(円)
木材運搬手数料	508,680

需用費	(円)
消耗品費	9,118

補助金	(円)
分収金支払	361,345

○事業の効果

- ・ 保育施業を実施することで、森林の公益的機能・財産価値を高めることができた。
- ・ 搬出間伐により157㎡の木材を生産し、408,816円の収益を上げた。

【搬出間伐竣工】



【保育間伐】



事業名	水産振興対策事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	06	農林水産業費
事業開始年度	平成 7 年度	事業進捗率	%		項	03	水産業費
担当部署	農林水産課	林業水産係			目	02	水産業振興費
事業費		1,195,165 円		事業の目的・目標	資源管理型漁業を推進するため、ヒラメの中間育成やアワビ等の放流を行い、漁業資源の維持・増大を図る。 また、江津市、美郷町、邑南町と共同してヨシ帯を保全し内水面漁業の魚場保全を図る。		
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	1,000,000 円					
	その他	円					
	一般財源	195,165 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

1. ヒラメの放流

石見西部地域水産振興部会に負担金を拠出し、ヒラメの稚魚の購入、中間育成を行い、約12cm程度まで成長させた後放流を行った。

栽培漁業の普及を目的として、津宮小学校5年生児童50人と学習会及びPR放流を実施した。

石見西部地域水産振興部会費 (円)

部会事業費	国補助金	県補助金	ファンド	市町村等負担金(江津市)
6,754,317	654,625	1,494,000	1,519,692	3,086,000 (275,560)

地域部会費 6,222 円 (旅費、通信費)
 育成管理費 2,315,775 円 (中間育成人件費、修繕費、各種消耗品費用等)
 種苗購入費 4,432,320 円 (ヒラメ160,000尾購入)

2. アワビ稚貝購入 (7,200個) 【事業費：816,480円】

3. 江の川ヨシ帯保全 【事業費：103,125円】

江川流域保全協議会活動組織

(円)

事業費	国補助金	県補助金	市町負担(江津市)
1,100,660	770,000	165,660	165,000 (103,125)

○事業の効果

1. 160,000尾のヒラメを放流し(内江津市約40,000尾)、県全体で取り組む「採る漁業からつくり育てる漁業」である栽培漁業の推進に寄与した。

2. 減少傾向にある水産資源の回復を支援するために、アワビの稚貝を購入し、JFしまね浜田支所江津出張所を通じ漁業者へ支給した。

種苗の生産、育成、放流等の栽培漁業推進のため、水産資源の回復を支援し、水産物の安定的な供給を図った。

3. 江の川水系の漁場環境の維持回復を目的としてヨシや競合植物の刈り払いを行った。

【ヒラメPR放流】



【アワビ稚貝放流】

